

I 調査の概要

1 平成 30 年度体力・運動能力調査実施要項

(1) 調査の目的

国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。

(2) 調査対象と人員（すべての年齢は調査実施年度の 4 月 1 日現在のものとする）

ア 小学生

①調査対象

公立小学校全学年（6 歳～11 歳）の男女児童

②調査人員

調査対象校の 1 校当たりの調査対象児童数は、第 1 表に示すとおりである。

③標本学校数とその抽出法

全国 47 都道府県を調査対象とする。

各都道府県教育委員会は、学校基本調査（指定統計第 13 号）に用いる学校調査番号総数を調査実施校数 3 で除し、抽出間隔となる数値（整数）を求め（小数点以下切捨）、この抽出間隔となる数値以下の 1 つの数を無作為に選び、第 1 番目の抽出番号とする。順次これに求めた抽出間隔となる数値を加えて実施校数分（3 校）の抽出番号を決定し、この抽出番号に応じた学校調査番号の公立小学校 3 校を抽出する。

なお、調査対象校において調査人員が確保できない場合は、次番号の学校で不足分を補う。

④標本抽出法

調査対象校においては、各学年 1 番目から順に調査対象数に見合う普通の学級を抽出し、その学級の全児童（テストを実施することが困難と認められる者は除く。）が実施者となるよう配慮する。テスト実施後、児童名簿より男女それぞれ 1 番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

イ 中学生

①調査対象

公立中学校全学年（12 歳～14 歳）の男女生徒

②調査人員

調査対象校の 1 校当たりの調査対象生徒数は、第 1 表に示すとおりである。

③標本学校数とその抽出法

全国 47 都道府県を調査対象とする。

各都道府県教育委員会は、学校基本調査（指定統計第 13 号）に用いる学校調査番号総数を調査実施校数 3 で除し、抽出間隔となる数値（整数）を求め（小数点以下切捨）、この抽出間隔となる数値以下の 1 つの数を無作為に選び、第 1 番目の抽出番号とする。順次これに求めた抽出間隔となる数値を加えて実施校数分（3 校）の抽出番号を決定し、この抽出番号に応じた学校調査番号の公立中学校 3 校を抽出する。

なお、調査対象校において調査人員が確保できない場合は、次番号の学校で不足分を補う。

④標本抽出法

調査対象校においては、各学年 1 番目から順に調査対象数に見合う普通の学級を抽出し、その学級の全生徒（テストを実施することが困難と認められる者は除く。）が実施者となるよう配慮する。テスト実施後、生徒名簿より男女それぞれ 1 番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

ウ 高校生

①調査対象

公立高等学校（全日制）全学年（15歳～17歳）の男女生徒

公立高等学校（定時制）全学年（15歳～18歳）の男女生徒

②調査人員

調査対象校の1校当たりの調査対象生徒数は、第1表に示すとおりである。

③標本学校数とその抽出法

全国47都道府県を調査対象とする。

各都道府県教育委員会は、学校基本調査（指定統計第13号）に用いる学校調査番号総数を調査実施校数（全日制は3、定時制は2）で除し、抽出間隔となる数値（整数）を求め（小数点以下切捨）、この抽出間隔となる数値以下の1つの数を見出し、第1番目の抽出番号とする。順次これに求めた抽出間隔となる数値を加えて実施校数分（全日制は3校、定時制は2校）の抽出番号を決定し、この抽出番号に応じた学校調査番号の公立高等学校（全日制）3校及び公立高等学校（定時制）2校を抽出する。

なお、調査対象校において調査人員が確保できない場合は、次番号の学校で不足分を補う。

④標本抽出法

調査対象校においては、各学年1番目から順に調査対象数に見合う普通の学級を抽出し、その学級の全生徒（テストを実施することが困難と認められる者は除く。）が実施者となるよう配慮する。テスト実施後、生徒名簿より男女それぞれ1番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

エ 高等専門学校学生

①調査対象

国立工業高等専門学校第4、第5学年（18歳、19歳）の男子学生。

②調査人員

調査対象となる学校及び学生数は、第2表に示すとおりである。

③標本抽出法

調査対象校においては、各学年1番目から順に調査対象数に見合う学級または学科を抽出し、その学級または学科の全学生（テストを実施することが困難と認められる者は除く。）が実施者となるよう配慮する。テスト実施後、学生名簿より1番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

オ 短期大学生

①調査対象

公（私）立短期大学全学年（18歳、19歳）の女子学生

②調査人員

調査対象となる短期大学及び学生数は、第3表に示すとおりである。

③標本抽出法

調査対象となる短期大学においては、各学年1番目から順に調査対象数に見合う学級または学科（体育専攻学生は除く。）を抽出し、その学級または学科の全学生（テストを実施することが困難と認められる者は除く。）が実施者となるよう配慮する。テスト実施後、学生名簿より1番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

カ 大学生

①調査対象

国立大学第 1, 第 2 学年 (18 歳, 19 歳) の男女学生。

②調査人員

調査対象となる大学及び学生数は, 第 4 表に示すとおりである。

③標本抽出法

調査対象となる大学においては, 各学年 1 番目から順に調査対象数に見合う学級または学科 (体育専攻学生は除く。) を抽出し, その学級または学科の全学生 (テストを実施することが困難と認められる者は除く。) が実施者となるよう配慮する。テスト実施後, 学生名簿より男女それぞれ 1 番から順に調査対象に見合う数だけ抽出する。

キ 成年

①調査対象

20 歳～64 歳の男女 (5 歳ずつの年齢区分で対象とする。)

②調査人員

全国 47 都道府県を調査対象とし, その標本数は第 5 表に示すとおりである。

③標本抽出法

各都道府県教育委員会は, 第 5 表に示された対象数を特定の地域・職場に偏らないように調査人員を配分する。

調査対象の配分に当たっては, 調査対象が特定の性, 年齢, 職業などに偏らないように十分配慮する。

それぞれの地区または職場 (部, 課, 班) においては, そこに所属する該当者全員 (テストを実施することが困難と認められる者は除く。) が実施者となるように配慮する。テスト実施後, 調査対象数を無作為に抽出する。

ク 高齢者

①調査対象

65 歳～79 歳の男女 (5 歳ずつの年齢区分で対象とする。)

②調査人員

全国 47 都道府県を調査対象とし, その標本数は第 5 表に示すとおりである。

③標本抽出法

各都道府県教育委員会は, 第 5 表に示された対象数を特定の地域に偏らないように調査人員を配分する。

調査対象の配分に当たっては, 調査対象が特定の性, 年齢などに偏らないように十分配慮する。

(3) 調査実施の時期

ア 小学生・中学生・高校生は調査実施年度の 5 月～7 月

イ ア以外は調査実施年度の 5 月～10 月

(4) 調査の内容と方法

ア 小学生は「新体力テスト実施要項 (6 歳～11 歳対象)」 (別添), 中学生・高校生及び高等専門学校・短期大学・大学の学生は「新体力テスト実施要項 (12 歳～19 歳対象)」 (別添), 20 歳～64 歳の成人は「新体力テスト実施要項 (20 歳～64 歳対象)」 (別添), 65 歳～79 歳の高齢者は「新体力テスト実施要項 (65 歳～79 歳対象)」 (別添) により実施する。

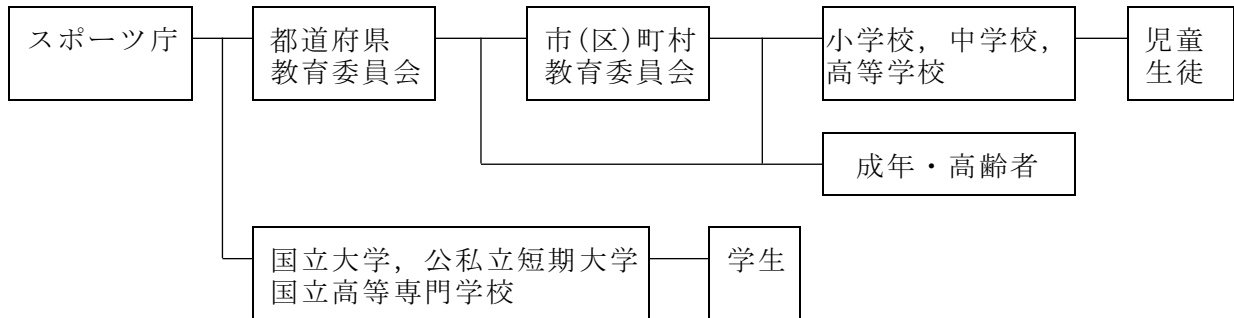
イ 身長, 体重を計測する。ただし, 小学生, 中学生, 高校生, 並びに高等専門学校, 短期大学及び大学の学生については, 調査実施年度の定期健康診断における測定値を利用する。

(5) 記録について

- ア スポーツ庁で配布する記録用紙を用い、その記入に当たっては、記録用紙の「記入上の注意」にしたがって該当事項を記入する。
- イ 記入は、原則として測定者（調査員）が行う。

(6) 調査系統、記録用紙の送付及び提出期限について

- ア 調査系統は次のとおりとする。



- イ 記録用紙は、性別、年齢別にまとめて次のように送付する。

- ① 「記録用紙」はスポーツ庁から各都道府県教育委員会及び関係機関を通じて各調査対象あて配布する。なお、高等専門学校、短期大学、大学についてはスポーツ庁から直接配布する。
- ② 小学生、中学生、高校生、成年、高齢者を対象にして調査した学校及び市（区）町村教育委員会は、「記録用紙」に間違いや未記入のないことを確かめた上、「性・年齢別提出記録用紙数一覧表」（別記様式1）を添え、小学生・中学生・高校生分については、8月7日までに、またそれ以外は11月6日までに当該都道府県教育委員会へ提出する。
- ③ 各都道府県教育委員会は、提出された「記録用紙」と「性・年齢別提出記録用紙数一覧表」（別記様式1）を取りまとめ、小学生・中学生・高校生分については、8月31日（必着）までに、またそれ以外は11月30日（必着）までにスポーツ庁健康スポーツ課あて送付する。
- ④ 高等専門学校、短期大学、大学においては、「記録用紙」に間違いや未記入のないことを確かめた上、「性・年齢別提出記録用紙数一覧表」（別記様式1）を添えて11月30日（必着）までにスポーツ庁健康スポーツ課あて送付する。

(7) 集 計

すべての統計的処理は、スポーツ庁において機械集計で行う。

(8) 結果の公表

本調査の結果は、調査年度ごとに調査報告書その他刊行物によって公表する。

(9) 調査票の保存期間

集められた調査票及び実査に用いた関係書類は、機械審査終了後すみやかに廃棄し、調査票の記載内容が収録された磁気媒体は公表の日から5年間保存する。

なお、これらは統計法第40条第1項の適用を受けることから、この調査の目的以外に使用することを禁ずる。

第 1 表 公立小学校、中学校、高等学校 1 校当たりの標本数

学 校	対象の学年 と年齢	1 年 齢 当 たり	性別内訳		1 学校当た りの標本数	
			男子	女子		
公 立 小 学 校	第 1 学年 6 歳	16	8	8	9 6	
	第 2 学年 7 歳	16	8	8		
	第 3 学年 8 歳	16	8	8		
	第 4 学年 9 歳	16	8	8		
	第 5 学年 10 歳	16	8	8		
	第 6 学年 11 歳	16	8	8		
公中 学 立校	第 1 学年 12 歳	20	10	10	6 0	
	第 2 学年 13 歳	20	10	10		
	第 3 学年 14 歳	20	10	10		
公 立 高 等 学 校	全日 制 課 程	第 1 学年 15 歳	18	9	9	5 4
		第 2 学年 16 歳	18	9	9	
		第 3 学年 17 歳	18	9	9	
	定時 制 課 程	第 1 学年 15 歳	4	2	2	1 6
		第 2 学年 16 歳	4	2	2	
		第 3 学年 17 歳	4	2	2	
		第 4 学年 18 歳	4	2	2	

第 2 表 国立高等専門学校の標本数（男子 18 歳， 19 歳）

区 分	1 高専当たりの 総 標 本 数	1 年 齢 当 たり の 標 本 数
旭 川 工業高等専門学校	4 0	2 0
鶴 岡 工業高等専門学校	4 0	2 0
富 山 高等専門学校	4 0	2 0
福 井 工業高等専門学校	4 0	2 0
豊 田 工業高等専門学校	4 0	2 0
舞 鶴 工業高等専門学校	4 0	2 0
和 歌 山 工業高等専門学校	4 0	2 0
米 子 工業高等専門学校	4 0	2 0
阿 南 工業高等専門学校	4 0	2 0
香 川 高等専門学校	4 0	2 0
久 留 米 工業高等専門学校	4 0	2 0
有 明 工業高等専門学校	4 0	2 0
熊 本 高等専門学校	4 0	2 0
大 分 工業高等専門学校	4 0	2 0
鹿 児 島 工業高等専門学校	4 0	2 0
計	6 0 0	3 0 0

第3表 公（私）立短期大学の標本数（女子18歳，19歳）

区 分	1短大当たりの 総標本数	1年齢当たりの 標本数
山形県立米沢女子短期大学	90	45
会津大学短期大学部	60	30
常盤短期大学	90	45
鎌倉女子大学短期大学部	60	30
愛知学泉短期大学	120	60
武庫川女子大学短期大学部	90	45
長崎女子短期大学	60	30
鹿児島県立短期大学	30	15
計	600	300

第4表 大学の標本数（男子・女子18歳，19歳）

区 分	1大学 当たりの 総標本数	男 子		女 子			
		1大学当た りの標本数	標本数		1大学当た りの標本数	標本数	
			18歳	19歳		18歳	19歳
北海道教育大学	30	0	0	0	30	30	0
弘前大学	120	60	30	30	60	30	30
岩手大学	80	40	0	40	40	0	40
山形大学	80	40	40	0	40	40	0
群馬馬場大学	150	80	40	40	70	30	40
電気通信大学	80	40	20	20	40	20	20
横浜国立大学	160	80	40	40	80	40	40
新潟潟大学	200	100	50	50	100	50	50
金沢大学	120	60	30	30	60	30	30
山梨大学	70	40	20	20	30	10	20
岐阜大学	160	80	40	40	80	40	40
静岡大学	230	120	60	60	110	50	60
和歌山大学	80	40	20	20	40	20	20
広島島大学	240	120	50	70	120	50	70
山口大学	80	40	40	0	40	40	0
愛媛大学	160	80	40	40	80	40	40
大分大学	120	60	30	30	60	30	30
鹿児島大	240	120	50	70	120	50	70
計	2,400	1,200	600	600	1,200	600	600

第 5 表 成年・高齢者の 1 都道府県当たりの人数

年 齢 区 分		男 子	女 子	1 都道府県当 たりの標本数
成 年	20～24歳	40	40	720
	25～29歳	40	40	
	30～34歳	40	40	
	35～39歳	40	40	
	40～44歳	40	40	
	45～49歳	40	40	
	50～54歳	40	40	
	55～59歳	40	40	
	60～64歳	40	40	
高 齢 者	65～69歳	20	20	120
	70～74歳	20	20	
	75～79歳	20	20	
計		420	420	840

(別記様式 1) 平成 30 年度体力・運動能力調査 性・年齢別提出記録用紙数一覧表

() 都道府県 (大学・短大・高専)

	男 子	女 子	合 計
6 歳			
7 歳			
18 歳			
19 歳			
合 計			

	男 子	女 子	合 計
20～24歳			
25～29歳			
70～74歳			
75～79歳			
合 計			

2 調査票の回収状況

年 齢	区 分	調査標本数	回 収 数	回 収 率
6歳～11歳	小 学 校	13,536	13,536	100.0%
12歳～14歳	中 学 校	8,460	8,397	99.3%
15歳～17歳	高等学校（全日制）	7,614	7,614	100.0%
15歳～18歳	高等学校（定時制）	1,504	1,315	87.4%
18歳～19歳	高等専門学校（男子）	600	549	91.5%
	短期大学（女子）	600	572	95.3%
	大 学	2,400	1,986	82.8%
12歳～19歳 計		21,178	20,433	96.5%
20歳～64歳	成 年	33,840	24,411	72.1%
65歳～79歳	高 齢 者	5,640	5,640	100.0%
合 計		74,194	64,020	86.3%

(注) %数値は小数点以下第2位を四捨五入して表記してある。